

×線CT装置が新しくなりました。

令和02年03月より×線CT装置を16列マルチスライスCTから、80列マルチスライスCT Aquilion Prime SP iEdition (パナソニック製)に更新しました。

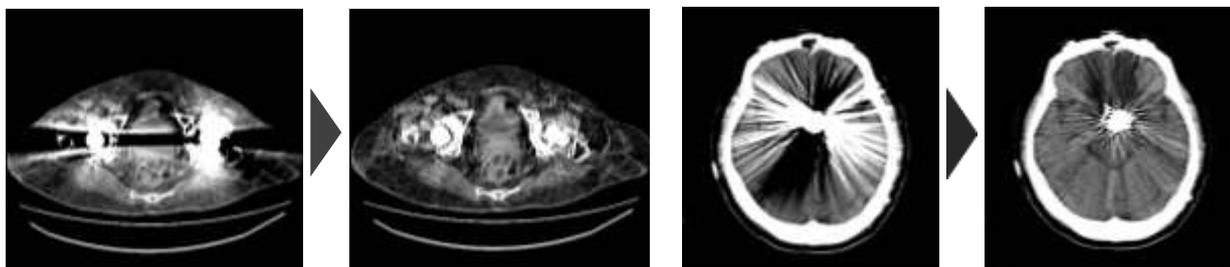


装置の特徴

更新機種は、人工知能技術であるディープラーニング（深層学習）を用いて設計された最新の再構成技術を搭載しており、画像ノイズが大幅に抑えられ、従来よりも撮影時間が短くでき、被ばく線量も最大75%低減できるようになりました。

胸部から骨盤まででは、約20秒⇒約10秒、胸腰椎では、約30秒⇒約10秒と、息止め時間が短縮され、短時間で、ブレの少ない画像を提供できるようになりました。

また、人工関節や人工義歯などの金属アーチファクトによる画像の劣化が課題となっていますが、金属アーチファクト除去を目的とした再構成技術 SEMAR（Single Energy Metal Artifact Reduction）が搭載されており、金属アーチファクトを効果的に抑え、金属周辺部の画質を飛躍的に向上することが出来ます。



骨盤部 CT 画像（両側人工骨頭）

頭部 CT 画像（脳動脈瘤コイル）

新たに搭載された機能を活用し、被ばく低減に取り組むとともに、患者様に優しく、さらなる高品質の画像提供に取り組んでまいります。